



平成31年度 笛吹市当初予算

CONTENTS

予算の概要	02	幸せ実感 ～こころ豊かに暮らせるまち～	04
幸せ実感 ～にぎわいあふれるまち～	05	幸せ実感 ～100年続くまち～	07

今年度予算の特徴

平成31年度の当初予算編成においては、本市の身の丈にあった財政規模とすることを念頭におき、事務事業の徹底した見直しを行い、歳出の削減を図りましたが、重点事業などには予算の重点配分を行いました。

その結果、一般会計予算においては、前年度から2億5,322万8千円多い総額307億9,181万円の当初予算となりました。

増額の主な要因は、市債の借換に伴う支出として4億5,800万円を計上しているためであり、事業に係る予算は、前年度と比較して減少した予算となっています。

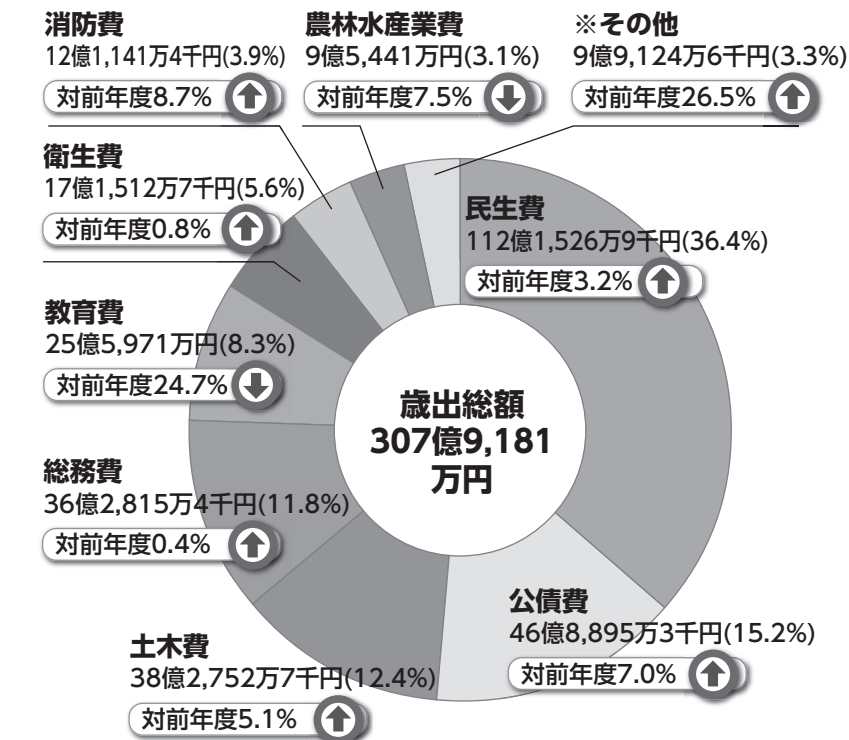
■歳出（性質別）

※経費を人件費や物件費などの性質によって分類

区分	予算額	構成比 (対前年度)
義務的経費		
人件費 議員や委員の報酬、職員の給与や諸手当に使われる費用	46億 6,746万 1千円	15.2% (0.9%↑)
扶助費 社会福祉や老人・児童福祉などに使われる福祉的な経費	63億 2,269万 6千円	20.5% (3.7%↑)
公債費 市債の返済にかかる費用	46億 8,895万3千円	15.2% (7.0%↑)
	156億 7,911万円	50.9% (3.8%↑)
投資的経費		
普通建設補助 国から補助を受けて実施する道路や学校などの施設建設に使う費用	7億 1,980万 5千円	2.3% (67.4%↓)
普通建設単独 市独自の財源で実施する建設事業にかかる費用	30億 4,389万 6千円	9.9% (27.3%↑)
災害復旧費 災害復旧にかかる費用	4万9千円	0.0% (0.0%→)
	37億 6,375万円	12.2% (18.2%↓)
その他		
繰出金 一般会計から特別会計へ国の基準に基づき繰り出す費用	27億 877万 1千円	8.8% (4.3%↑)
物件費 消費的性格を持つ市の経費に使う費用(賃金・旅費・消耗品など)	47億 4,564万 8千円	15.4% (4.2%↑)
補助費 各種団体に交付する補助金や負担金などの費用	32億 5,336万 7千円	10.6% (3.6%↑)
その他 その他費用	6億 4,116万4千円	2.1% (19.5%↑)
	113億 4,895万円	36.9% (4.8%↑)

※経費を福祉や教育などの行政サービスの目的ごとに分類

■歳出（目的別）



※その他の内訳

商工費 4億8,782万2千円 対前年度37.7%↑	諸支出金 2億2,841万6千円 対前年度48.4%↑	労働費 1,217万7千円 対前年度4.8%↓
議会費 2億3,278万2千円 対前年度0.1%↑	予備費 3,000万円 対前年度0.0%→	災害復旧費 4万9千円 対前年度0.0%→

◎予算科目(目的別)の説明

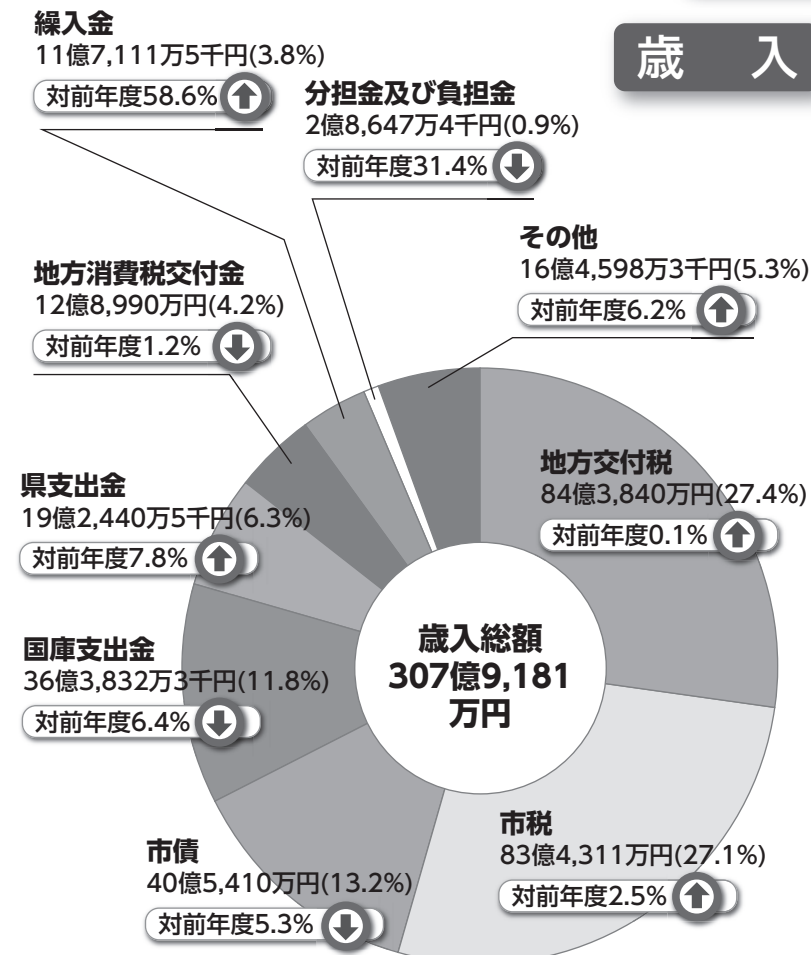
民生費	子育て、高齢者、障がい者などの福祉に支出される経費
公債費	市債の返済にかかる経費
土木費	市道、河川、公園などの経費
総務費	庁舎の管理、徴税、戸籍事務などの経費
教育費	小中学校、社会教育などの経費
衛生費	健康増進、環境保全などの経費
消防費	消防、救急、消防団などの経費
農林水産業費	農業振興、農道整備などの経費
商工費	観光振興、中小企業の支援などの経費
議会費	議会の運営などの経費

笛吹市は今年、 どんなことに お金を使うの？

平成31年度の一般会計予算総額は、307億9,181万円。前年度と比べて、2億5,322万8千円(0.8%)の増額となりました。

皆さんに納めていただいている税金などが、31年度中にどのように使われるのかをお知らせします。

■歳入



○用語の説明

地方交付税	皆さんが国に納めた税金の一部が、地方公共団体の財政状況などに応じて配分されます
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です
国県支出金	国や県から、特定の目的を達成するために交付されるお金です
その他税・交付金	皆さんが国や県におさめた税金の一部が、地方譲与税などとして交付されます
198億3,572万8千円(64.4%)	
市税	皆さんから笛吹市に納めていただく税金です
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です
繰入金	歳入不足や特定の目的を達成するため、各種基金(貯金)から取り崩してお金を使います
使用料及び手数料等	市の施設の利用や証明書を発行する際にかかるお金です
109億5,608万2千円(35.6%)	

会計区分	31年度予算額	対前年度
特別会計	176億5,179万4千円	1.9%↑
国民健康保険特別会計	90億5,461万円	1.1%↑
介護保険特別会計	68億1,454万1千円	1.7%↑
介護サービス特別会計	978万4千円	27.2%↓
後期高齢者医療特別会計	15億5,758万2千円	4.6%↑
農業集落排水特別会計	5,422万2千円	5.7%↑
簡易水道特別会計	2,419万6千円	98.9%↑
笛吹市境川観光交流センター特別会計	8,500万円	56.5%↑
財産区	5,185万9千円	10.2%↑
企業会計	64億1,328万1千円	2.8%↓
水道事業	28億4,852万6千円	1.1%↓
春日居地区温泉給湯事業	7,326万円	3.1%↓
公共下水道事業	34億9,149万5千円	4.2%↓

特別会計や企業会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理を行う会計です。

平成31年度 一般会計予算 307億9181万円(前年度比0.8%増)

特別会計・企業会計予算

平成31年度 重点事業の紹介

平成31年度において重点事業を選定し、これらの事業を中心に市政を展開していきます。

第二次笛吹市総合計画に掲げた将来像「ハートフルタウン笛吹」の優しさあふれるまちへの実現のために、3つの基本目標「幸せ実感 ころ豊かに暮らせるまち」「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」「幸せ実感 100年続くまち」を設定しています。

今回、3つの基本目標の施策体系に沿って重点事業を紹介いたします。



〔人と文化を育むまちづくり〕

小学校外国語授業アシスタント事業

(学校教育課)

：127万円

新学習指導要領への移行に伴い、小学校3年生以上の外国語授業の増加に対応するために、英語に堪能な方を募り、ボランティアによる授業の支援を行っています。この方式は、市独自のもので、市内小学校での外国語活動をより効果的に行い学力の向上を図ります。

学校給食センター建設事業

(学校教育課)

：1億8145万円

石和地区の5小学校の給食調理場の老朽化に伴い、石和町砂原地区内に給食センターを建設しました。

平成31年度の2学期から、施設の稼働を予定しています。



「ハートフルタウン笛吹」
人のみがきあげ
1 幸せ実感
～ころ豊かに暮らせるまち～

安

安心して子どもを産み、子育てできる環境の充実に、地域での支え合いを大切に、誰もが住み慣れた場所できいきと暮らせるまちをつくりまします。

そして、市民一人ひとりが希望を持ち活躍できる環境を通じて、心身ともに健康で、こころ豊かに暮らし幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 ころ豊かに暮らせるまち」を目標とします。

〔子育てしやすいまちづくり〕

春日居学童保育クラブ事業

新規

(子育て支援課)

：1億1298万円



小学生の昼間留守家庭児童に、放課後の適切な遊びおよび生活の場を与え、その健全育成を図ります。平成31年度は、利用希望者が多い春日居学童保育クラブを拡大するため施設整備を行います。

子育て世代定住支援事業

(企画課)

：5000万円

子育て世帯の移住・定住を促進するため、中学生以下の子どもがいる世帯が、住宅ローンを利用して市内に住宅を取得する場合、補助金を交付します。

御坂北保育所完全民営化事業

新規

(子育て支援課)

：16万円

指定管理者制度を導入してい

(観光商工課)

：2100万円

昭和38年頃から、石和町川中島のさくら温泉通りに桜を植栽し、約60年が経過しています。樹木医による診断を行ったところ、早急に72本の改植が必要と診断されました。

このため、30年度、31年度の2年間で伐採および植栽を行い、石和温泉の春の風物詩である桜を、今後も、多くの観光客の皆さんや市民の皆さんに楽しんでいただきます。



さくら温泉通りの桜

新道峠展望台整備事業

(観光商工課)

：8491万円

世界文化遺産である富士山と

る公立保育所を完全民営化する事業です。民間保育所独自の保育理念や発想力を活かし、さまざまな保育ニーズに対応することにより、子育て環境の充実を図ります。

〔誰もが安心して暮らせるまちづくり〕

通所事業「通所型サービスB」

新規

(長寿介護課)

：378万円

介護予防を目的に、要支援者の通いの場を運営するボランティアや地域組織等に対して、立ち上げ費用や運営費等の一部を補助します。身近な地域の中に、定期的に通える居場所づくりを広めていきます。



河口湖、山中湖まで見渡せる絶景スポットとして新道峠周辺を整備することにより、国内外から本市を目的地として訪れる観光客の増加を図っていきます。



新道峠から望む富士山

笛吹物語プロジェクト事業

(観光商工課)

「笛吹物語」と題し、笛吹市観光物産連盟や観光協会、旅館組合等と連携を図り、四季を通じてイベントを開催することにより、笛吹市が観光の目的地となるような取り組みを行います。併せて、首都圏および北関東、中京圏に圏央道や令和2年開通予定の中部横断自動車道を利用することで、本市までのアクセスが格段に向上していることをPRしていきます。

「美り豊かなブランド農林業づくり」

笛吹市農業塾推進事業

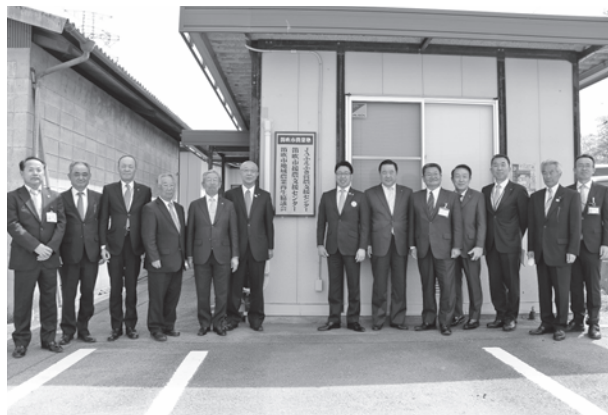
(農林振興課)

……840万円

地域農業の維持と発展を図るため、関係機関と相互連携し効果的・効率的な農業支援体制を整備します。

また、経営が難しくなる高齢農家などを把握し、新規就農、規模拡大を目指す農業者をマッチングする「第三者継承」を支援します。

さらに、GAP認証取得の支援、産地パワーアップ、経営強化支



平成30年4月2日に開設した笛吹市農業塾開所式

援を行うことで、「笛吹市農業塾」が日本一の果樹王国「ふえふき」の農業を支える方々のための環境整備に貢献し、市の農業情報発信の拠点となるよう支援します。

新規 農業共済加入補助事業

(農林振興課)

……813万円

NOSAIが事業主体となる果樹共済に新たに収入保険制度が加わりました。引き続き市では、掛け金の一部を助成することで、農家の負担軽減を図り、安定経営を支援します。

「活力ある地域経済づくり」

企業立地促進助成事業

(観光商工課)

……9128万円

「農村地域への産業の導入に関する実施計画」のエリア見直しを進める中で、固定資産税課税免除と助成金の交付による企業誘致を推進し、地元雇用の拡大を図ります。

山梨県と連携した企業立地促進事業助成金制度および市独自の企業立地奨励金交付制度を活

用し、農工団地への新規起業や事業拡大を支援します。

農村地域への産業の導入計画 策定事業

(農林振興課)

「農村地域工業等導入促進法」が、平成29年6月に改正され、その対象業種についての基準の見直しがあり、ほぼ全ての業種が対象となりました。

新たな法律のもと、県の基本計画に即した「農村地域への産業の導入に関する実施計画」を策定します。

市内に9カ所ある工業団地のエリアを、秩序ある計画を策定することで、地域農業と工業団地の両立を目指し、企業の誘致や雇用の創出を目指します。

砂原橋及び周辺道路整備事業

(土木課)

……1億7927万円

砂原橋および周辺道路の早期開通により、石和地区と八代・境川地区の交流だけでなく、新山梨環状道路、笛吹八代スマートIC、石橋農工団地へのアクセスの円滑化を図ります。

平成20年度に策定された、本市のまちづくりの指針となる「笛吹市都市計画マスタープラン」を、本市を取り巻く社会経済環境、生活環境の変化や上位計画の改定に伴い、計画の中間見直しを行い、実態に即した計画により、まちづくりを進めていきます。

「安全、安心で災害に強いまちづくり」

災害時無線ネットワーク整備事業

(新規)

(情報システム課)

……209万円

市役所本庁舎と消防本部の間に無線データ通信の施設を設置し、災害時に電柱の倒壊等により、光ファイバーが断線した場合でも、本庁舎において、パソコン等が使用できる環境を維持し、災害対策本部の円滑な運営ができる体制をつくりま

防災システム導入事業

(新規)

(防災危機管理課)

……140万円

市職員間の地図による災害情報共有システムを導入し、迅速

「移り暮らしせる魅力あるまちづくり」

農産物等消費拡大宣伝事業

(農林振興課)

……738万円



平成30年6月25日東京大井町阪急百貨店

農業を取り巻く環境が大きく変化し、農産物の産地間競争が激しくなるなか、本市の恵まれた環境で生産され、安全、安心で、日本一の生産量と品質を誇る「もも」「ぶどう」を中心とした農産物の更なる消費拡大につながるため、「笛吹産農産物」の魅力を生産者から消費者へ広く発信していく必要があります。

国内では東京や大阪などの大消費圏へ、海外では東南アジアを中心に、「もも」「ぶどう」

な災害現場の特定を行い、災害対応が実施できるようにしていきます。

導入するシステムは、携帯電話から地図情報および画像を送信するため、電話番号や光ネットワークの切断が起こった場合も災害情報を収集し、共有することが可能となります。



「快適な生活環境づくり」

有料指定ごみ袋補助事業

(環境推進課)

有料指定ごみ袋については、ごみの減量を図る施策として平成29年4月から導入しました。

ごみ袋の売上金を財源として、新生児や在宅介護者などオムツを必要とする方へ、ごみ袋の無料配布を行うことで負担の軽減を図ります。

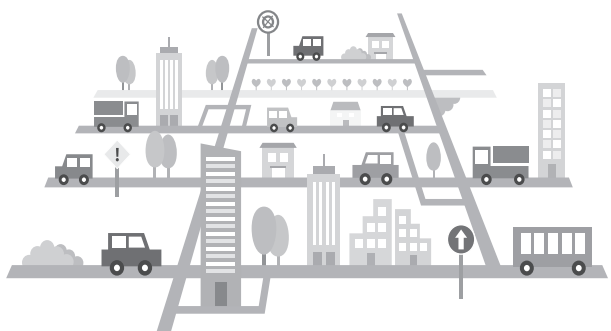
さらに、財源を活用して行政区において収集された資源物の量に応じて奨励金を交付することにより、さらなるごみの分別を推進します。

「ハートフルタウン笛吹」 基盤のみがきあげ 3 幸せ実感 ～100年続くまち～

を中心とした市産農産物の販売促進イベントを開催し消費拡大を図ります。

市民による主体的な活動の促進と、それを行政が支える体制を構築する中で、市民、団体、事業者、行政が、それぞれの役割を自覚し力を合わせ、ともに考えともに行動し持続可能な地域活動を実現する協働によるまちをつくりま

市の行財政基盤は、財政的にも人事的にも弾力性が失われつつあります。行政ニーズに的確に応えるとともに、引き続き質の高い行政サービスを提供していくため、健全で身の丈にあった行財政改革



……919万円

「将来を見据えた土地利用を推進するまちづくり」

都市計画マスタープラン見直し事業

(まちづくり整備課)

に取組みます。そして、豊かな自然環境と調和した都市としての姿を今後も保ち、災害や犯罪等の不安なく、安全、安心に暮らし続けることができる環境を通じて幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 100年続くまち」を目標とします。

笛吹みんなの広場整備事業

(政策課) (まちづくり整備課)

……13億536万円

笛吹市の玄関口であるJR石和温泉駅の南側に位置し、2.5haの面積を有する笛吹みんなの広場を「さまざまなイベントが開催できる緑豊かな公園」として整備します。

併せて大規模災害時には、自衛隊が活動の拠点とできるような整備を行います。

「市民が起点、地域社会を支える協働のまちづくり」

地域振興促進助成事業

(市民活動支援課)

……520万円

持続可能な地域活動を実現するために、市民、団体、行政が力を合わせ、ともに考え、ともに行動する協働のまちづくりを行うことが重要です。市民、NPO、ボランティア等および行政区、公民館等のコミュニティ組織等が、主体的に実施する地域の特性や創造性を生かした地域づくりに取り組む、公共的で公益的な新規事業に対し助成金を交付します。

「将来を見据えた行財政づくり」

統合型GISシステム構築事業

(情報システム課)

……977万円

市が利用する地図データのうち、複数の部署が利用するデータ(例：道路、街区、建物など)を一元的に管理し、庁内横断的に情報の共有および利用をすることで、行政業務の更なる効率化および高度化を図るとともに、住民サービスの向上を目指す

すことを目的として統合型地理情報システムを導入します。

本館立体駐車場整備事業

(管財課)

……1億5209万円

本館北側駐車場は、建設されてから34年が経過し、老朽化が進んでいます。また、本館の利用時やイベント時には、来庁者の駐車場が不足する状態となっています。本館の来庁者駐車場不足の解消するため、老朽化している既存の駐車場を新たに立

体駐車場に建て替えることで、来庁者の本館の利便性を図るとともに、安全で利用しやすい庁舎づくりを目指します。令和2年7月の完成予定です。

公共施設適正化推進事業

(政策課)

財政の厳しい状況を踏まえ、効果的、効率的な公共施設等の整備および管理運営により、社会情勢の変化や財政状況に即した施設規模の適正化を推進します。

≡ 【まちづくりの方向性】 ≡

本市の将来像の実現を目指すに当たっては、「人のみがきあげ」「産業のみがきあげ」「基盤のみがきあげ」をまちづくりの基本的な考え方とするなかで、市民や事業者など、本市に関わる方々と行政が、ここを一つに合わせ、共通認識を深めた上で、協働を図っていくことが重要です。

また、人口減少が予想され、本市の財政運営が厳しさを増すなかで、人や財源などの限られた資源を有効に活用していくことも必要です。

本市はこうした方向性に沿ってまちづくりを進めていきます。

